



第1回GICセミナー：

研究室の倉庫の奥にこそ宝がある！？

～音響技術の事業化事例から考える新製品開発と産学連携～



坂本 真一

九州大学グローバルイノベーションセンター客員教授
株式会社オトデザイナーズ 代表取締役

● 場所：

グローバルイノベーションセンター
アドバンスデザインプロジェクト棟
[旧産学連携センターデザイン総合部門棟]
3階 会議・セミナー室（大橋キャンパス）



平成28年10月17日（月） 13：30～15：00

● 定員：

35名（先着順）

● 世話人：

九州大学大学院 芸術工学研究院 教授
高木 英行
九州大学大学院 芸術工学研究院 教授 兼
グローバルイノベーションセンター副センター長
尾本 章

● 申込先：

アドバンスデザインプロジェクト棟事務室
（大橋キャンパス）
担当：平島（ひらしま）
アドレス：drcjimu@design.kyushu-u.ac.jp
TEL&FAX：092-553-4584

産学連携というと、多くの研究者の皆さんは、最新の研究成果を企業に製品化してもらい、多くの人々に役立ててもらおうようなプロセスを想像されると思います。もちろん、それは素晴らしいことではありますが、一方で、かなり以前に研究を進め、すでに結論が出てしまったテーマに関するデータ、もしくは、研究を遂行するために構築した実験システムなど、研究室の倉庫の奥には、一般の人が知らない様々な成果が眠っています。そして、企業にとっては、それこそが宝物である場合も多いのです。今後の産学連携の方向性を考えていくための参考として、オトデザイナーズの「高齢顧客とのコミュニケーションスキルアップ事業」と「補聴器適合検査用機器の開発、販売事業」を事例とし、研究室の倉庫の奥で眠っている宝物を人々の役に立てていく方策について考察してみたいと思います。

九州大学産学連携センターは、オープン・イノベーション推進と新産業の創成を目指して、平成28年10月1日、グローバルイノベーションセンター（Global Innovation Center: GIC）に生まれ変わりました。

主催：九州大学グローバルイノベーションセンター